

議案第1号

平成24年度 事業報告

A. 報告期間

平成24年6月12日～平成25年3月31日

ただし、報告初年度につきNPO設立認証前の活動も報告に含む

B. 会議

(ア)理事会

回	日時	場所
第1回	平成24年9月17日(祝)16:30～18:55	日暮里サニーホール第一会議室
第2回	平成25年3月23日(土)16:00～18:00	MFCG事務所

(イ)リーダー会議

回	日時	場所
第01回	平成24年4月14日(土)14:00～18:00	MFCG事務所
第02回	平成24年5月12日(土)14:00～18:00	同上
第03回	平成24年6月9日(祝)14:00～18:00	同上
第04回	平成24年7月14日(土)17:00～20:00	同上
第05回	平成24年8月11日(土)17:00～20:00	同上
第06回	平成24年9月8日(土)17:00～19:00	同上
第07回	平成24年11月10日(土)17:00～21:00	同上
第08回	平成24年12月8日(土)17:45～20:15	同上

(ウ)MFCG会 (平成25年度より、リーダー会改めMFCG会と改名)

回	日時	場所
第01回	平成25年1月12日(土)17:00～19:00	MFCG事務所
第02回	平成25年2月9日(土)17:00～19:00	同上
第03回	平成25年3月9日(土)17:15～20:45	同上

(エ)全体定例会 (NPO法人設立前から平成24年度中は全体定例会を実施)

※当報告へはNPO法人認定後の第13回より記載

回	日時	場所
第13回	平成24年6月26日(火)19:00～21:50	日暮里サニーホール第一会議室
第14回	平成24年7月31日(火)19:00～21:50	同上

第15回	平成24年8月28日(土) 19:00～21:50	同上
第16回	平成24年9月25日(土) 19:00～21:40	同上
第17回	平成24年10月30日(土) 19:00～22:00	同上
第18回	平成24年11月27日(土) 19:00～21:00	同上

C. 会員数 ※平成25年3月31日時点で会費入金済の会員

(ア)正会員数 23名

(イ)賛助会員数 37名 (内、学生会員1名)

D. 広報

(ア)ミタース通信

第1号：平成23年12月20日発行

第2号：平成24年10月1日発行

(イ)メルマガ発行

※当報告へはNPO法人認定後の号外号より記載

回	発効日	タイトル
号外号	平成24年6月13日	NPO認定される
第09回	平成24年6月22日	NPOとしての第一歩
第10回	平成24年7月7日	大学の話題から
第11回	平成24年7月28日	現地調査を行いました
第12回	平成24年8月13日	グランプリ獲得！
第13回	平成24年9月19日	理事会を開催しました
第14回	平成24年10月5日	8月の講演会から
第15回	平成24年10月16日	MFCG主催講演会
第16回	平成24年11月6日	ボランティアさんの活躍
第17回	平成24年11月22日	ミャンマー人と日本人学生の交流
第18回	平成24年12月17日	MFCG会員による支援活動紹介

(ウ)ブログ

✓ MFCG ブログ <http://ameblo.jp/myanmarfcg/> 更新履歴

発効日	リンク
平成24年6月21日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20120621.html
平成24年7月28日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20120728.html
平成24年8月13日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20120813.html

平成 24 年 9 月 25 日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20120925.html
平成 24 年 10 月 26 日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20121026.html
平成 24 年 12 月 31 日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20121231.html
平成 25 年 2 月 15 日	http://ameblo.jp/myanmarfcg/day-20130215.html

- ✓ 名知代表のプライベートブログ <http://ameblo.jp/myanmarfcg-nachi/>
名知代表の個人的ファンにも MFCG の活動を遡及できるよう、MFCG 公式ブログとは異なり個人的な日常に起こった出来事や感想を内容に盛り込むようにしている。
更新に関しては名知代表に任せており、できるだけ更新をお願いしている。

(エ)MFCG ホームページ開設 <http://myanmar-clinic.jimdo.com/>

- ✓ 平成 24 年 7 月 現在の MFCG ホームページを Jimdo 上に開設
 - メンテナンス要員不在という状況の中でも運営可能なサイトである必要性から Jimdo を利用したサイト設計をした。
- ✓ 平成 25 年夏にリニューアル予定

(オ)MFCG パンフレット作成

- ✓ 平成 24 年 3 月にパンフレットを作成し講演時などに利用
- ✓ 現在は在庫切れの状況 新年度版の作成に関しては検討中

(カ)イベント実施

実施日	イベント名
平成 24 年 6 月 10 日	NPO 設立記念パーティー
平成 24 年 11 月 18 日	日本の大学生とミャンマー人との交流食事会

(キ)映像による広報活動実施

- ✓ MFCG と代表の名知仁子を紹介するためのビデオを作製しました。
- ✓ 名知代表のメールフッターに短編へのリンクを掲載しています。
 - 短編：名知先生とミャンマーとの出会い(MFCG)
 - ◇ https://www.youtube.com/watch?v=w82pzzvow_o
 - 名知仁子先生、ミャンマーへの愛---日本語編／英語編---
 - ◇ <https://www.youtube.com/watch?v=PZUIDuI-3uQ> (日本語)
 - ◇ <https://www.youtube.com/watch?v=AOKzMQ5nhc4> (英語)

E. 事業活動

(ア)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

① 調査活動

- ✓ 実施目的：ミャンマー現地の状況把握、今後の計画立案に必要な情報収集
- ✓ 調査日程：平成 24 年 6 月 23 日～7 月 7 日
- ✓ 参加者：
 - 医療チーム（久留宮、酒井、村上、名知）
 - 正会員（伊藤）
 - ボランティア会員（塚本）
- ✓ 報告内容：
 - ※ 定例会／ミタース通信を通じて会員に向けて報告済
 - 第 1 4 回 MFCG 定例会（平成 24 年 7 月 31 日（火））
 - ミタース通信 2 号（平成 24 年 10 月 1 日）
 - 1. 実際にミャンマーで、医療または菜園の活動を行っている団体及び個人を訪問。
ミャンマーの現状、MFCG との提携の可能性、今後 MFCG が現地で活動するにあたり準備すべき事項などについて調査を実施した。
<訪問先>オアシス、JICA、AMDA、OISCA、YMCA、医療法人、アジア学院卒業ミャンマー人、その他ミャンマー人等
 - 2. 現段階での有力候補はアジア学院卒業ミャンマー人の活動との提携。
当氏は米作りだけに依存しない農業をめざし、複数の作物を通年育てる事業を行っている（JICA の活動と同じシステム）。村に病院がないため、MFCG としては保健衛生指導から着手し、ここを足がかりに活動地域を広げていける可能性がある。
 - 3. ミャンマーで医療支援をする団体との提携方法を検討中。
当団体はミャンマーでの医師確保で MFCG と協力したい意向。MFCG としては資金面等での支援を期待したい。
- ✓ 今後の課題：現地で活動するための MOU 取得等

② 啓発活動

講演会 計 23 回実施（依頼講演：15 回 MFCG 主催講演：8 回）

依頼講演：15 回

回数	日	主催者	会場	テーマ
01	平成 24 年 6 月 12 日	(有)埼玉レーヨン研究所 (株)トヨムラ医療総合研究所 おおば調剤薬局 長島茂雄	大宮ソニック シティ	これが私の生きる道 ミャンマーに医療と希望を！ 日本人女医・名知仁子の挑戦
02	平成 24 年 7 月 10 日	荒川区パーキンソン病友の会 睦美会	アクロス荒川	“ミャンマーに医療と希望を”

03	平成 24 年 7 月 17 日	台東区谷中小学校	谷中小学校	これが私の生きる道 ミャンマーに医療と希望を！ 日本人女医・名知仁子の挑戦
04	平成 24 年 7 月 xx 日	杉並倫理法人会	杉並 LOVE センター	国際医療を通じて 人生について考える
05	平成 24 年 8 月 24 日	あらかわ文化村	三芳建設相 談室	ミャンマーに医療と希望を
06	平成 24 年 8 月 30 日	桐生市立広沢公民館	桐生市広沢 公民館講堂	これが私の生きる道 ミャンマーに医療と希望を！ 日本人女医・名知仁子の挑戦
07	平成 24 年 10 月 12 日	渋谷倫理法人会	アットビジネ スセンター渋谷 503	私の国際医療への道
08	平成 24 年 10 月 26 日	昭和の森看護学校文化祭	昭和の森看 護学校 2 階 体育館	国際医療実践の道 人は繋がり生きて いる
09	平成 24 年 11 月 27 日	駿河台大学		私の国際医療への道
10	平成 24 年 12 月 15 日	楽と講演会実行委員会	鳥取市交流 プラザ多目 的ホール	国際医療実践の道 人は繋がり生きて いる
11	平成 25 年 1 月 25 日	大和倫理法人会	大和商工会 議所	国際医療を通じて 人生を考える 経営者モーニングセミナー
12	平成 25 年 2 月 2 日	パル生協	中野	これが私の生きる道
13	平成 25 年 2 月 5 日	パル生協	国分寺	これが私の生きる道
14	平成 25 年 2 月 23 日	橋本倫理法人会	橋本ホテル	国際医療を通じて人生考える
15	平成 25 年 2 月 26 日	さわかみ投信	紀尾井町	生きる

主催講演 8 回

回数	日	場所	主催者	会場	参加者
01	平成 24 年 4 月 10 日	日暮里	MFCG	荒川区アクト21	31 名
02	平成 24 年 5 月 8 日	同上	同上	同上	5 名
03	平成 24 年 6 月 12 日	同上	同上	同上	21 名
04	平成 24 年 8 月 7 日	同上	同上	同上	3 名
05	平成 24 年 9 月 11 日	同上	同上	同上	2 名
06	平成 24 年 10 月 9 日	同上	同上	同上	19 名
07	平成 24 年 11 月 7 日	同上	同上	日暮里サニーホール	23 名
08	平成 25 年 2 月 24 日	同上	同上	同上	帰国報告会

うち、平成 25 年 2 月 24 日に実施した講演の報告以下のとおり

③ MFCG 主催定期講演（ミャンマーからの帰国報告）

- ✓ 目的：
 - 1月にミャンマーから帰国した名知代表と食のエキスパートである羽熊氏を迎えての定期講演会実施（平成 25 年度初回）
 - ミャンマーでの活動支援と会員獲得の呼びかけ。
- ✓ 期間：平成 25 年 2 月 24 日（土）
- ✓ 講演者：名知知子、羽熊広太
- ✓ 内容：名知代表より、昨年 12 月から今年 1 月までミャンマーで活動内容についての報告および MFCG の活動内容説明を実施。また今後、NPO としてのミャンマーでどのような取り組みを実施していくかを説明。羽熊氏からは去年のミャンマー紀行を「食」をテーマにご講演いただいた。また現地の農業の取り組み方について、日本人の視点から見た現状と問題点についてもお話しいただいた。

(イ)社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

① 横浜 YMAC 主催ミャンマー移動クリニック参加

- ✓ 日程：2012 年 12 月 26 日-31 日
- ✓ 場所：ミャンマー パティン地区
- ✓ 内容：
 - 1 日ごとに異なる村を訪問してクリニックを設置し、そこで患者さんを診させていただく。（ミャンマーの地方では交通網未整備のため固定クリニックへの訪問は困難。クリニック側が訪問する移動クリニックを実施）
 - 今回はパティン YMCA のスタッフが事前に訪問する村を訪ねて聞き取り調査をしており村の人々とより良いコミュニケーションを持っていた。MFCG が移動クリニックを展開する場合にも地元とのコミュニケーションは重要となる。
- ✓ 結果
 - 毎日約 250 人の村人が来院
 - 慢性疾患といわれる人々（高血圧など）の比率が高い
 - 入院への移送 4 人
 - 白内障を疑われる患者が多くいたので次回は眼科医同行検討

② 在日ミャンマー人向け AED 講習会主催

- ✓ 日程：2012 年 6 月 18 日
- ✓ 場所：新宿区 高田の馬場 早稲田奉仕園
- ✓ 参加者：日本在住ミャンマー人 55 人
- ✓ 背景：2012 年 3 月のある日、午前 4 時半か 5 時頃に、高田馬場駅近くの下落合寄りで、28 歳のミャンマー・カチン族の男性が突然に倒れて死亡。近くのミャンマー

平成25年度事業計画(案)

平成25年4月1日～平成26年3月31日

1. 事業実施方針

NPO法人ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会は、日本・ミャンマー両国間の医療・農業を通じた国際交流の促進、クリニックと菜園の運営支援活動を通じた生活基盤の充実と母子保健の向上に寄与することを目的とする。

そのための平成25年度は次の事業を実施する。

2. 事業の具体的内容

- 事業を開始のための前提
事業開始のための前提として、ミャンマーでNGO登録MOU取得が必要となる。そのためにミャンマー側の拠点としてヤンゴンに連絡所を設け、現地ミャンマー事情ならびに国際NGO活動経験豊富なスタッフを配置することが急務となる。
- 日本ーミャンマーの連携
上記前提条件をクリアするため、またクリアした際早期に本来の事業活動を開始できるようにするため、日本ーミャンマー間におけるスタッフ連携はこれまで以上に必要となる。
 - ◇ 日本（MFCG事務所ベース）
 - ✓ 現地活動の支援・バックアップ
 - ✓ 運営体制の強化
 - ✓ 活動資金の供給（支援者拡大、会員数増加、助成金獲得など）
 - ◇ ミャンマー（ヤンゴン連絡所ベース）
 - ✓ ミャンマーでの拠点事務所の確保（ヤンゴン連絡所）
 - ✓ NGO MOU申請のための現地スタッフ確保
 - ✓ 医療品保管場所確保（エーヤワディーDividionのパティン（予定））
 - ✓ 活動拠点選定
（チャンゴンタウンシップ or ミャウミャタウンシップ）

NGO登録MOU取得が完了した場合、以下の事業を行う計画である。

3ヶ月に1度は日本において定期的な報告会を開催し、現地の生の状況を伝えるとともに、支援者からいただいた寄付の具体的な用途をお知らせする。

(ア)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業

当初はパテインを活動の拠点とし、パテインから医師・村人との交渉などを行なうスタッフと共に村々を廻る移動クリニックを2-3回行なう。

移動クリニックの内容は、手洗い等の保健啓発活動を中心とし、同時に現場における真の医療ニーズの調査を行う。この調査結果により栄養不良の患者を診療、治療するメインクリニックの建築場所及びクリニックに併設予定の菜園用土地選定も同時に行なう。

村長・学校の先たちとの交流を行い、村人たちと一緒に参加型の活動にしていく計画である。例えば 学校の先生などは、手洗い活動を学ぶことで学校で実践指導することができ、こども達に衛生について考える場を与えることが出来き、成果判定においても教師の協力を仰ぎながら実施することができる。

3か月に1度帰国し、調査報告ならびに現地状況の報告を行なう。

(イ)社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業

移動クリニック：村、村を移動しながら診療を行なう。

週2-3回 1回に100人くらいの患者の診察を行う。
主な対象は **primary health care** であり、保健衛生である。
マラリア・5歳以下の急性呼吸器感染症、及び下痢症、貧血など基本的
に母子保健に関わる疾患も含めて行なう。

急病の緊急搬送も考慮して現地の病院などとは友好関係を築く

日本におけるミャンマー人対象の健康相談会

年2回ほどのペースで日本に住んでいるミャンマー人対象の無料健康相談会を開催する。

(ウ)災害その他緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業

災害の規模などにより MFCG 単独で支援活動が困難な場合は他の団体の後方支援に廻ることとする。

(エ)食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業

メインクリニックの近くで自家消費を行なう作物栽培の菜園の場所の選定を行なう。土地利用の交渉・活動の協働化を提案することになる。

(オ)生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業

作物栽培の販売ルートなどの開発が可能なら行なう。